

◎ファーストピアスは信頼できる病院で

- ★ ピアスの穴あけは医療行為です。感染症などのトラブルにならないためにも、必ず信頼できる病院でピアッシングを行きましょう。

ピアスはファッションのひとつです。今では男女問わずピアスやイヤリングをつけている方を多く見受けられます。

しかし、市販のピアッシング用器具や安全ピンなどを使って友達同士でピアッシング（ピアス穴あけ）を行ったことでピアス器具が埋没（耳たぶに埋まってしまう）したり、感染症を起こしてしまったり、病院に受診される方がしばしばおられます。

日本でのピアッシングは医療行為とされています。自己によるピアッシング行為は、器具の使い回しによるHIVやC型肝炎などの重大感染の危険があるため、ピアッシングは衛生管理の整った病院で行うことをお勧めします。

当院では医療用の専用ピアスガン（装着器）で、医師が安全にピアッシングを行います。鏡で見ながらご希望の部位に目印をつけ、安全に行います。

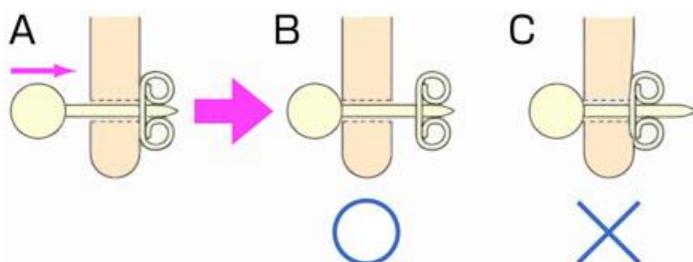
ファーストピアスは滅菌消毒された医療用のものを使用しますので、感染が起きにくく、安定したピアスホールを保つことができます。



◎ピアス穴あけ（ピアッシング）のアフターケア

- ★ 約1か月間、次のケアを欠かさずに行ってください。
 - 1日2～3回程度、ピアスとストッパーを持ち、互いに反対方向に回してください。
 - 入浴時や運動後はシャワー等で十分汗や汚れを洗い流してください。
 - 1日2～3回程度、ピアッシング部の水分を十分拭き取り、ピアスを持ち上げながら耳とピアスの間の部分にお渡しした消毒スプレーを噴霧してください。
- ★ ピアッシング部やピアス部周囲の皮膚の発赤、腫脹、痛み等の症状が現れた場合は、医師の診察を受けてください。

◎ファーストピアッシング後の正しいピアス位置



※Aのようにピアスの頭部が耳から飛び出した状態になったり、Cのように耳介（耳たぶ）を締め付けた状態にならないようにピアッシングを行います。

◎ピアッシングによる合併症

・感染症

ピアッシング後、かゆみ、腫れ、浸出液の流出が続く。

・金属アレルギー

市販の金属製ピアスによって、金属アレルギー（アレルギー性接触皮膚炎）を起こすことがあります。症状としては、かゆみ、かぶれ等です。

・耳垂裂（じすいれつ）

重いピアスをしていると、ピアスホールが縦長に伸びて耳介（耳たぶ）が切れてしまうことがあります。

・ケロイド（癬痕）

ピアッシング部位の傷が盛り上がってケロイド（癬痕）状になることがあります。

- ❖ 耳介（耳たぶ）以外の部位にピアッシングは行いません。
- ❖ ピアッシングは健康保険が適用されませんので自費扱いとなります。
- ❖ 金属アレルギーの方は装着できませんのでご了承ください。

◎当院のピアッシング料金（ピアス代金を含む）

	料金（税込）
両耳	6,600円
片耳	3,300円
専用消毒薬	720円

◎ピアッシング可能な診療時間

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
午後	16:00 ~ 19:00	○	○	○	○	×	—

※詳しくは、当院スタッフまでご相談ください。